

<b>〔科目名〕</b> 社会調査と統計	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b> 専門科目 経営学科基礎科目
<b>〔担当者〕</b> 行本 雅 Yukimoto Tadashi	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> 初回の授業時にお知らせします <b>場所:</b> 515 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> <p>本講義では、社会調査と統計についての基本的な知識を身につけて実際に調査を行えるようになることを目標とします。社会調査は、社会の動向を調べることを目的とした様々な調査のことを指します。これには、国勢調査のような公的統計や国政選挙の結果予測のような大規模なものから、小規模なアンケート調査まで様々なものがふくまれます。また、近年ではインターネットの普及により web 上での調査も盛んに行われています。</p> <p>こうした調査を適切に設計して実施し、得られた結果を正確に解釈するには、統計や調査方法についての基本的な知識が必要となります。本講義では、実際の調査の流れに沿いながら調査計画の立案から調査の設計、調査の実施、データの管理・構築、初歩的なデータ分析までの基本的な知識について解説します。</p>		
<b>〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> <p>近年では、政策やビジネスの現場においてエビデンスに基づいた意思決定が求められるようになってきています。本講義では、こうしたデータの収集や分析を行うための基本的な知識について学びます。</p> <p>マーケティング分野での様々な分析手法を学ぶ市場調査論の入門的な位置づけになります。この他にも、統計学や計量経済学などが関連する科目になります。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p>前半では、社会調査と統計についての基本的な知識を身につけて実際に調査を行えるようになることを目標とします。</p> <p>後半では、記述統計や仮説検定、相関、回帰分析の基本的な考え方を理解し、実際に簡単な計算が出来るようになることを目標とします。</p>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>確率・統計分野の初歩からカバーするようにしていますが、おおむね好評のようなのでなるべくこのまま続けたいと思います。</p>		
<b>〔教科書〕</b>		
<b>〔指定図書〕</b>		
<b>〔参考書〕</b> D. Griffiths (2008) <i>Head First Statistics</i> , O'Reilly (黒川利明監訳, 『Head First Statistics』, オライリー・ジャパン, 2009 年).		

<p>轟亮・杉野勇・平沢和司編(2021)『入門・社会調査法 第4版』法律文化社.  佐々木弾(2017)『統計は暴走する』中公新書ラクレ.  鳥居泰彦(1994)『はじめての統計学』日本経済新聞出版社.  藪友良(2012)『入門 実践する統計学』東洋経済新報社.</p>	
<p>〔前提科目〕 なし。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>評価は授業中の課題と期末試験で行います。前半では、知識が身についているかだけでなく、それを現実の問題に応用できるかを問います。後半は、簡単な計算問題をしてもらいます。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>A: 80 点以上  B: 70～79 点  C: 60～69 点  D: 50～59 点  F: 49 点以下</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>社会調査と統計についての初歩的な内容についてなるべくわかりやすく説明します。前半は、基本的な知識をおさえるだけでなく、現実の問題に即して考えるようにしてください。また、後半は簡単な数値例で実際に手を動かして計算するようにしてください。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):社会調査と調査のプロセス  内 容:社会調査の基本について学びます</p> <p>教科書・指定図書:轟・杉野(2017)第1章、第2章、第3章</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):調査の設計  内 容:調査設計について学びます</p> <p>教科書・指定図書:轟・杉野(2017)第4章、第5章、第6章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):データ・マネジメント  内 容:データの管理の仕方について学びます</p> <p>教科書・指定図書:轟・杉野(2017)第9章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):データの視覚化と代表値  内 容:データ全体の傾向をみる方法について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第1章、第2章</p>

第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):分散と標準偏差          内 容:データのばらつきをみる方法について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):確率          内 容:確率の計算の仕方について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):離散確率分布          内 容:離散確率分布の期待値と分散について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第5章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):順列・組み合わせ          内 容:順列・組み合わせについて学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第6章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):様々な離散確率分布          内 容:幾何分布、二項分布、ポアソン分布について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):正規分布          内 容:正規分布について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第8章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):正規分布による近似          内 容:正規分布によって様々な分布を近似する方法について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第9章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):標本抽出          内 容:サンプリングについて学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第10章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):推定と検定          内 容:推定と検定について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 第11章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):相関          内 容:相関関係について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 付録</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):回帰分析          内 容:回帰分析について学びます</p> <p>教科書・指定図書:D. Griffiths (2008) 付録</p>
試験	<p>期末試験を行います。</p>